

12/18
五旗

石垣島への自衛隊配備を止める
住民の会共同代表、内科医師

上原 秀政さん



広げよう
2000万署名

私もサイン



北海道広尾町森林組合
代表理事組合長

久保 善久さん

平和な島を守りたい

いま政府は石垣島（沖縄県石垣市）に自衛隊のミサイル部隊を配備しようとしています。領海や国土防衛、防災のためだといいますが、平和なこの島に軍事基地をつくることには絶対反対です。

島への自衛隊配備はこうした戦争体制づくりの一環だと思います。基地はいったんできると永久的に島に居座り、住民のくらしにも、観光にも悪影響を与え、安心して子育てもできなくなりま

す。

安倍政権は「戦争のできる国」をめざして安保法制を強行成立させ、自衛隊をイラクやシリアに出そうとしています。そうなれば隊員が戦闘に巻き込まれ、殺し殺されることになりかねません。

保守だ、革新だといっている場合ではありません。自然豊かで平和な石垣島、八重山を子々孫々まで守るためには、自衛隊配備反対と、戦争法廃止を求める声をもっと広げなければと思います。

自発的運動の追い風

私の父は、先曰くなくなった漫画家の水木しげるさんと同じラバウルで、瀕死の重傷を負い帰還しました。父から戦争の悲惨さを聞き、「二度と戦争は起こしてはならない」と教えられました。

はまぎれもなく国民の総意です。

安倍政権の戦争法強行に対し、若者をはじめ多くの国民が立ち上がったのは、自発的な動きであり、この流れはこれからも続くでしょう。2000万署名の取り組みは、この流れへの追い風になります。

日本国憲法ができた時、国民のだれもが「もう戦争しなくて済むんだ」と安堵したはずで

す。今、占領軍がつくった憲法は改正せねばという話を聞きますが、憲法

は絶対守らなければなりません。戦争しない国であってこそ、他国から尊敬される国になります。